

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2025年2月13日
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と色の変化③

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・色への興味関心が広がっており、色を混ぜる所から子どもたちと行い、色水がどう広がっていくのか観察する。

2. 活動スケジュール

・STEMの実験セットを使って、色水を使った色の変化についての実験を行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・STEM 実験セット
- ・ライトテーブル
- ・染粉(赤・黄・緑・青)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・染子で色水を作る。
- ・ライトテーブルの真ん中に透明の入れ物に水を入れておく。
- ・スポイトで一滴ずつ色を垂らしていく。
- ・色の広がりを観察する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> •『どんな風に混ざるかな』と言う問いかけをしてから始めました。一人一色色を持ちスポイトで一滴ずつ透明な水の中に垂らした。初めてのスポイトに「うあ〜押したら水が入る」「もう一回押したら水が出てくる」と色々試しながら自分達で使い方を見つけていた。 •「初めはぼくからね」と黄色から入れると「うあ〜なんか雲みたい」「どんどん下に落ちていくよ」と、気づいたことを言葉にしていた。 •緑を入れると「ゆっくり混ざり始めてる」「エメラルドグリーンになる」と新たな発見をしていた。次に試したのは青・赤だった。濃い色が最後だったので広がりがよく観察できていた。 •偶然スポイトから落ちた水が粒のままな事を発見し、「見て見て、雨みたいになったよ」と色々な色の水滴を垂らしアートが出来上がっていた。 	

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

ライトテーブルで下から光を当てることで色の広がりを観察でき、一滴ずつ垂らしていくことで色の混ざり具合にも気付くことができていた。色によって混ざり方が異なることや、色と色を混ぜるとどうなるのかということにも気づき周りの子に発信していた。気づきの目が広がりたまたまスポイトから垂れた水が雫になっていることに気づき水玉アートへと発展して行っていた。